



# 静岡市立静岡病院

開設者／地方独立行政法人 静岡市立静岡病院  
所在地／〒420-0853 静岡市葵区追手町10番93号  
URL／<http://www.shizuokahospital.jp/>



## 病床数

506床  
(一般病床500床、感染症病床6床)

## 医師数

167名

## 指導医数

53名

## 入院患者／日

391.2名

## 外来患者／日

1,030.5名

## 救急医療／日

29.2名(令和3年1～12月の平均)



病院長  
小野寺 知哉



理念  
・  
特色

静岡市立静岡病院は、150年以上の歴史を有する市の中心部に位置した31科、506床を有する総合病院で、ハートセンター・消化器病総合センターを併設し、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院の認定をうけた静岡市の中核病院です。歴史と実績のある循環器内科、心臓血管外科をはじめ、全ての診療科において高度専門医療を提供しています。救急医療にも力を入れ、「ことわらない救急医療」をモットーに市内全体の救急搬送患者数の25%以上を占めるなど地域医療に貢献しています。

また、教育研修管理センターを設置して研修医・専攻医の教育に力を入れています。

## 診療科目

内、循、心外、消、外、消外、腎内、内分、脳内、血内、呼、呼外、緩和ケア、小、精、整、脳外、皮膚、形成、泌、産婦、眼、耳、頭頸部外科、口腔、放治、放診、リハ、麻、病理、救急

## 研修医コメント



学生時代から心臓血管外科専攻を希望していた私にとって、レベルの高い循環器疾患を学べる当院の研修はとても魅力的でした。ハートセンターの存在により循環器内科と心臓血管外科が合同で診療に当たることができるのが当院の強みであり、内科・外科の垣根を超えて患者にとって最適な治療法について話し合っています。心臓血管外科専門医取得を目指し、初期研修修了後は当院の外科専門研修プログラムに進みたいと考えています。(令和3年度採用研修医)

学年が近い専攻医が多いため、診療方針の些細な疑問も聞き易くすぐに解決できています。各科の指導医の下で入院診療について経験し、個々の症例にまつわる知識も教えていただけるので、日々多くのことが学べます。メンター制度はひとり1名ずつ相談しやすい上級医を選び、研修中や将来の不安についてアドバイスがもらえます。メンターに限らず気にかけてくださる上級医も多く、ストレスを感じずに有意義な研修生活を送っています。(令和2年度採用研修医)

## 処 遇

身分	地方独立行政法人職員(非常勤)			
給与	1年次基本給/月	341,600円	2年次基本給/月	349,600円
	1年次賞与/年	954,772円	2年次賞与/年	1,503,280円
	諸手当	時間外手当、住居手当		
	1年次基準支給額/年	6,318,000円	2年次基準支給額/年	6,929,000円
宿舍	有		当直有(平均月3回)	
保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、勤務医賠償責任保険			

# 臨床研修医（初期研修医）の研修プログラム

- **プログラム名** 静岡市立静岡病院初期臨床研修プログラム
- **募集定員** 13名（予定）（令和3年度採用数 12名）
- **協力型病院** 溝口病院、清水駿府病院、日本平病院、静岡県立こころの医療センター、静岡市立清水病院、静岡県立こども病院、共立蒲原総合病院
- **協力施設** 静岡県赤十字血液センター、静岡市保健所、静岡富沢病院、西伊豆健育会病院、熱川温泉病院、岡本石井病院、翔南病院（沖縄県）、静岡市研修医を育む会参加診療所 ほか

## プログラムの特色

当院は、一般的な疾患、救急患者が多数経験できる市中の総合病院です。当院の研修プログラムでは、実地における経験を通し、医師としての基本的な知識、技術、態度を習得できることを目標としています。研修のあり方としては、臨床医としても基本的な実力が養成されるよう、(1) 基本的・一般的なことを反復研修、(2) マニュアルを活用した効率的研修、(3) EBMに基づく医療の修得と実践を基本としています。

必修科目として内科、外科、救急、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科、地域医療を2年間でローテーション研修し、内科・小児科研修時を中心に並行して合計4週の外来研修を行います。また、32週の選択研修期間をもうけ、既習科目の再履修や選択科目（整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科等※）の履修等、臨床研修の基本理念でもある幅広く臨床医学の素養を習得できるための科目の選択ができるよう配慮しています。また、救急医療の研修については特に力を入れ、8週の救急専修期間以外に毎月3回程度当直業務を指導医等とともに担当し、継続的な救急医療の研修ができるように工夫しています。

※選択科目には研修プログラム規程に基づく一部制約あり。

## ローテーションスケジュールの一例

1年次スケジュール	内科		内科		救急	麻酔	外科		救急	内科		救急
2年次スケジュール	小児	選択	選択	産婦	選択	精神	選択	地域	選択	選択	選択	選択

- 必修部分のローテーションは病院側で指定します。必修科目のうち、内科は呼吸器内科、循環器内科、血液内科と内分泌代謝内科、消化器内科、腎臓内科から3科を原則8週ずつ継続して研修します。外科は外科・消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科から研修する1科を、救急については、救急科8週に加え整形外科又は脳神経外科のいずれかをローテーションします。



入職時オリエンテーション風景



感染対策・PPE着用研修



気管挿管研修会(座学+手技)



研修医室の様子

## 応募手続

応募資格	第117回医師国家試験(令和4年実施)を受験する者で、マッチングシステムに参加する者			
必要書類	履歴書、卒業(見込)証明書、成績証明書、共用試験(CBT)成績表の写し			
募集締切	令和4年7月予定			
選考方法	筆記試験、小論文、面接 ※詳細はホームページをご確認ください。			
選考時期	令和4年8月予定			
応募連絡先	担当課	教育研修管理センター	担当者	松野・佐藤
	TEL	054-253-3125	FAX	054-253-3155
	E-mail	kyouiku@shizuokahospital.jp		